



## 平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 澁澤倉庫株式会社

コード番号 9304 URL <https://www.shibusawa.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 大隅 毅

問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員財務部長 (氏名) 星 正俊 TEL 03-5646-7235

四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日 配当支払開始予定日 平成30年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	32,308	2.0	1,843	6.4	1,978	12.7	1,311	12.1
30年3月期第2四半期	31,689	8.6	1,732	△4.6	1,755	△3.0	1,169	△3.4

（注）包括利益 31年3月期第2四半期 1,297百万円（△35.4%） 30年3月期第2四半期 2,008百万円（139.8%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	86.24	—
30年3月期第2四半期	76.92	—

（注）当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	95,461	43,891	44.9	2,821.28
30年3月期	96,657	42,944	43.4	2,759.81

（参考）自己資本 31年3月期第2四半期 42,897百万円 30年3月期 41,962百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	4.50	—	22.50	—
31年3月期	—	23.00	—	—	—
31年3月期（予想）	—	—	—	23.00	46.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合後の基準で換算した平成30年3月期の1株当たり年間配当金は45円00銭となります。

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,500	0.3	3,400	1.4	3,500	40.1	2,090	30.1	137.46

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期2Q	15,217,747株	30年3月期	15,217,747株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	12,924株	30年3月期	12,863株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期2Q	15,204,823株	30年3月期2Q	15,205,015株

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」および「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油価格の高騰や米国と中国および主要先進国との貿易摩擦が激化するなど、不安定要因があったものの、企業活動や個人消費が底堅く推移し、緩やかな回復基調が続きました。

このような経済情勢にあつて、物流業界では堅調な設備投資や個人消費により国内輸送や輸入貨物の荷動きはともに好調に推移しました。また、不動産業界では都市部におけるオフィスビルの空室率は低い水準を維持し、賃料相場は僅かながら上昇傾向で推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、中期経営計画「Step Up 2019」に掲げた事業戦略を積極的に推進してまいりました。物流事業においては、消費財を中心とした物流一括受託業務や高付加価値業務の拡大のほか、国内外の拠点における新規営業活動に努め、また、不動産事業においては、既存施設の計画的な保守および改良工事を実施し、現有資産の付加価値向上や安定的な収益基盤の維持に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は、物流事業において消費財の倉庫業務や陸上運送業務が伸長したほか、不動産事業が堅調に推移したことにより、前年同期比6億1千8百万円(2.0%)増の323億8百万円となりました。営業利益は、物流事業では取扱い貨物増加に伴う作業費の増加により前年同期並み、不動産事業では増収効果により増益となり、全体では同1億1千1百万円(6.4%)増の18億4千3百万円となりました。経常利益は、保有株式の受取配当金増加や資金調達費用の減少に加え、持分法による投資損益の改善により、同2億2千2百万円(12.7%)増の19億7千8百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、同1億4千1百万円(12.1%)増の13億1千1百万円となりました。

当社グループのセグメントの概況は、次のとおりであります。

#### ① 物流事業

**倉庫業務**は、飲料、食品、電気機器などの保管、入出庫、流通加工業務が好調に推移し、営業収益は前年同期比2億7千8百万円(4.1%)増の71億3千1百万円となりました。

**港湾運送業務**は、輸入荷捌業務の取扱いが増加したものの、輸出荷捌業務や船内荷役業務の取扱いが減少したことにより、営業収益は前年同期比1億8千6百万円(5.8%)減の30億2千6百万円となりました。

**陸上運送業務**は、飲料や日用雑貨などの消費財や電気機器の輸配送業務が増加したことにより、営業収益は前年同期比4億7千万円(3.0%)増の159億4千3百万円となりました。

**国際輸送業務**は、香港、ベトナムにおける海外現地法人の取扱いや、輸入海上貨物、輸出航空貨物の取扱いが増加したものの、輸入航空貨物の取扱いが減少したことにより、営業収益は前年同期比4千4百万円(2.0%)減の22億2千6百万円となりました。

**その他の物流業務**は、横浜地区での物流施設賃貸がフル稼働したことなどにより、営業収益は前年同期比1千8百万円(1.8%)増の10億8千9百万円となりました。

この結果、**物流事業全体**の営業収益は前年同期比5億3千6百万円(1.9%)増の294億1千6百万円となりました。営業費用は、取扱い貨物増加に伴う運送関連費用など作業費の増加により、前年同期比5億3千6百万円(1.9%)増の280億9千1百万円となりました。以上により、営業利益は前年同期並みの13億2千5百万円となりました。

#### ② 不動産事業

ビル管理業務の取扱いが増加したほか、一部施設の賃料改定により不動産賃貸収入が増加し、営業収益は前年同期比9千7百万円(3.4%)増の29億4千8百万円となりました。営業費用は、賃貸ビルの減価償却費や保守管理費などが減少し、前年同期比1千9百万円(1.4%)減の14億2千4百万円となりました。以上により、営業利益は前年同期比1億1千6百万円(8.3%)増の15億2千3百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、借入金の約定返済による現金及び預金の減少および固定資産の減価償却による減少等により、前連結会計年度末に比べ11億9千5百万円減少し、954億6千1百万円となりました。

負債については、社債の発行額が増加したものの、借入金の約定返済が進んだこと等により、前連結会計年度末に比べ21億4千3百万円減少し、515億6千9百万円となりました。

また、純資産については、配当金の支払いがあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、前連結会計年度末に比べ9億4千7百万円増加し、438億9千1百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末より1.5ポイント増加し、44.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローの増加がありましたが、投資活動によるキャッシュ・フローおよび財務活動によるキャッシュ・フローの減少により、全体で14億2千9百万円の減少となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は、103億8千6百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払いがあったものの、税金等調整前四半期純利益の計上および減価償却費による資金留保等により20億6百万円の増加（前年同四半期比8億7千5百万円の増加）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出、無形固定資産の取得による支出および投資有価証券の取得による支出等があったため、10億6千万円の減少（前年同四半期比6億1千3百万円の増加）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の発行による収入があったものの、社債の償還による支出、長期借入金の約定返済や配当金の支払いがあったため、23億7千万円の減少（前年同四半期比5億5千5百万円の減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期の連結業績は概ね期初予想に沿ったところで推移しておりますので、平成30年8月7日に公表した通期の連結業績予想を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,853	8,420
受取手形及び取引先未収金	12,031	12,184
有価証券	4,000	4,000
その他	1,768	2,139
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	27,651	26,742
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	30,228	29,421
土地	17,699	17,699
その他(純額)	2,031	2,527
有形固定資産合計	49,960	49,648
無形固定資産	2,291	2,157
投資その他の資産		
投資有価証券	14,707	14,733
その他	2,085	2,147
貸倒引当金	△39	△39
投資その他の資産合計	16,753	16,841
固定資産合計	69,005	68,648
繰延資産	0	70
資産合計	96,657	95,461

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	5,148	4,715
短期借入金	8,843	5,778
1年内償還予定の社債	7,000	—
未払法人税等	650	689
引当金	599	589
その他	2,247	2,410
流動負債合計	24,488	14,183
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	20,677	18,817
長期預り金	4,700	4,700
退職給付に係る負債	2,454	2,483
その他	1,391	1,385
固定負債合計	29,223	37,386
負債合計	53,712	51,569
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,847	7,847
資本剰余金	5,683	5,683
利益剰余金	24,086	25,055
自己株式	△23	△23
株主資本合計	37,592	38,561
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,859	4,882
為替換算調整勘定	△333	△416
退職給付に係る調整累計額	△156	△131
その他の包括利益累計額合計	4,369	4,335
非支配株主持分	981	994
純資産合計	42,944	43,891
負債純資産合計	96,657	95,461

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業収益		
倉庫保管料	3,592	3,797
倉庫荷役料	3,259	3,333
荷捌料	5,650	5,406
陸上運送料	15,467	15,936
物流施設賃貸料	780	799
不動産賃貸料	2,815	2,898
その他	123	136
営業収益合計	31,689	32,308
営業原価		
作業費	20,127	20,590
賃借料	1,519	1,440
人件費	1,716	1,706
減価償却費	1,263	1,282
その他	3,502	3,622
営業原価合計	28,129	28,640
営業総利益	3,560	3,667
販売費及び一般管理費	1,828	1,823
営業利益	1,732	1,843
営業外収益		
受取利息	22	22
受取配当金	202	219
持分法による投資利益	—	5
その他	57	55
営業外収益合計	282	302
営業外費用		
支払利息	135	107
持分法による投資損失	73	—
その他	49	60
営業外費用合計	258	167
経常利益	1,755	1,978
特別利益		
固定資産売却益	77	—
特別利益合計	77	—
税金等調整前四半期純利益	1,833	1,978
法人税等	627	639
四半期純利益	1,206	1,339
非支配株主に帰属する四半期純利益	36	28
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,169	1,311



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	1,206	1,339
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	940	28
為替換算調整勘定	△103	△58
退職給付に係る調整額	40	24
持分法適用会社に対する持分相当額	△74	△35
その他の包括利益合計	802	△41
四半期包括利益	2,008	1,297
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,995	1,276
非支配株主に係る四半期包括利益	13	21

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,833	1,978
減価償却費	1,415	1,422
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△14	29
受取利息及び受取配当金	△225	△241
支払利息	135	107
持分法による投資損益 (△は益)	73	△5
固定資産売却損益 (△は益)	△87	△11
固定資産除却損	1	14
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,524	△157
仕入債務の増減額 (△は減少)	133	△430
その他	151	△208
小計	1,897	2,497
利息及び配当金の受取額	224	246
利息の支払額	△135	△131
法人税等の支払額	△854	△605
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,131	2,006
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,524	△1,552
定期預金の払戻による収入	1,498	1,506
有形固定資産の取得による支出	△779	△818
有形固定資産の売却による収入	209	25
無形固定資産の取得による支出	△273	△207
投資有価証券の取得による支出	△805	△38
その他	0	24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,674	△1,060
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△505	130
長期借入れによる収入	700	200
長期借入金の返済による支出	△1,525	△5,255
社債の発行による収入	—	9,919
社債の償還による支出	—	△7,000
配当金の支払額	△456	△341
非支配株主への配当金の支払額	△8	△8
リース債務の返済による支出	△18	△15
その他	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,815	△2,370
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	△4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,366	△1,429
現金及び現金同等物の期首残高	9,981	11,815
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,614	10,386

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	物流事業	不動産事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	28,874	2,815	31,689	—	31,689
セグメント間の内部営業収益又は振替高	6	35	41	(41)	—
計	28,880	2,850	31,731	(41)	31,689
セグメント利益	1,325	1,406	2,731	(999)	1,732

(注1) セグメント利益の調整額△999百万円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に各セグメントに帰属しない親会社本社の管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	物流事業	不動産事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	29,409	2,898	32,308	—	32,308
セグメント間の内部営業収益又は振替高	6	50	56	(56)	—
計	29,416	2,948	32,364	(56)	32,308
セグメント利益	1,325	1,523	2,848	(1,004)	1,843

(注1) セグメント利益の調整額△1,004百万円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に各セグメントに帰属しない親会社本社の管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。